

滝川市長 田村 弘 様

滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書

滝川市環境市民委員会

平成 20 年 11 月 26 日

1 趣旨

本評価報告及び提言書は滝川市環境基本条例第 29 条に基づき、滝川市環境市民委員会（以下、「委員会」という。）として調整した評価及び提言等について、滝川市長に対して年に一度、提出するものである。

なお、ここで評価対象とするのは前年度（平成 19 年度）の取組についてである。

また、評価及び提言は、市が作成・公表した年次報告書に記載されている数値目標の達成状況などをはじめとしてその他の取組等を総合的に勘案した上で、特に市が今後の取組を進める上で留意すべきと思われる点についてまとめたものである。

2 平成 19 年度の取組等に関する評価について

平成 19 年度の取組に係る評価については、次の点を提示する。

- 1) 一人あたりのゴミ排出量及びリサイクル率に係る各数値目標の達成に向けては、分別収集品目の増など今後、さらなる具体的な対応策を検討する必要がある。
- 2) 省エネモニターの CO₂ 削減量については、モニター世帯の対象数が過少で、取り組みが十分に浸透していないことがうかがわれることから、より広汎に多くの世帯の参加を促しつつ、省エネ意識の浸透徹底に努め、達成度の向上を目指すべきである。
- 3) その他の数値目標については引き続き、計画的に推進されることがのぞまれる。

3 今後の取組に向けた提言について

提言については、次の点を提示する。

- 1) 原油価格の高騰や地球温暖化の進行などを背景として、滝川市においても特に省エネルギーへのさらなる取り組みを喫緊の課題として捉え、家庭だけでなく、企業・事業所などが気軽に参加できる省エネモニターシステムの創設を検討されることを提案する。
- 2) そらぶちキッズキャンプ事業の推進は、日常生活と豊かな自然環境との調和が図られている滝川市の良さを生かした事業の一つであり、市内外の多くの人々に環境都市滝川をアピールできる契機ともなることから、幅広い市民参加による環境保全活動等のサポートを促すとともに、環境への取り組みと同キャンプ事業推進が連携するような取り組みについて検討されることを提案する。

委員会としては、今後、滝川市が環境施策を展開していくなかで、以上の各事項について十分に留意し取り進めるよう要望し、報告ならびに提言する。

平成 20 年 11 月 26 日

滝川市環境市民委員会委員長 明 円 直 志